

Donation Candidates for the “CONTINUE” Exhibition

1. SOS Kinderdorf Tōhoku / 子供の村東北

ドイツでも Kinderdorf として知られている NPO の東北版です。東北版は 2012 年に立ち上がり、多くの方の寄付と支えで 2014 年 12 月にセンターの建設が完了。

東日本大震災で両親、あるいは一方の親を失った子どもたちが深く傷ついたこころを癒し、さまざまな困難を乗り越えて成長していくためには、多くの支えが必要とされるそうです。

「子どもの村」は、大震災で親を失った子どもたちはもとより、親の病気や経済的理由など、さまざまな事情で家族と暮らせない子どもたちに、「愛され、守られている」と感じることのできる家庭環境を保障し、地域のなかで豊かな子ども時代を送ることができますよう、様々な永続的な支援を行っています。

ホームページ : <http://soscvtohoku.org/>



2. Ohori Soma Pottery - Matsunaga Kiln - / 大堀相馬焼 - 松永窯 -

大堀相馬焼は福島県双葉郡浪江町にて 300 年続く伝統の工芸品です。

浪江町は津波を受け、窯は破壊されました。20km ほどしか離れていない第一発電所の放射能により、避難をよぎなくされ、地元の素材を使う可能性も断たされました。

しかし、彼らはあきらめませんでした。別の場所で窯を建て、代替材料も開発。若いスタッフが流行の場所や海外での販売も手掛けました。

300 年の歴史を絶やさないために、今日も頑張っています。

ホームページ : <http://soma-yaki.com/>



3. PV Owner Network Japan / NPO 太陽光発電所ネットワーク (PV-Net)

NPO PV-Net は 2003 年に、企業だけでなく、町や個人も含めた全ての太陽発電所長のためのプラットフォームをつくるために設立されました。2011 年の大震災後、PV-Net が手掛けた数々のプロジェクトの 1 つは、被災地で人々が自分たちの太陽光発電所をつくることのサポートでした。発電された電力は電力会社に売電され、その収益は発電所の維持管理と地域への還元に使われています。また、災害時、緊急時には地域の電源スポットとして開放されます。そして何より、地元の人々に力を与えました。

今回の寄付は、被災地でのプロジェクトに優先して使用されます。

PV-Net ホームページ : <http://www.greenenergy.jp/>

野田村だらすこ市民共同発電所 (代表的なプロジェクト) : <https://www.facebook.com/darasuko.solar>

